# 電子請求をはじめる前に

国民健康保険中央会

国民健康保険中央会

国民健康保険中央会の許可なく複製、改変を行うことはできません。 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。 また、本システムにより生じたいかなる損害についても本会では責任 を負いかねますのであらかじめご了解のうえ、システムをご使用ください。

## ♦♦目次♦♦

はじめに	1
1. 作業の流れ	2
2. 導入作業の準備	3
①動作環境を確認する ②電子請求受付システムにログインする ③導入マニュアル(事業所編)をダウンロードする	
3. 電子請求受付システムの導入作業について	17
4. 導入作業後の請求事務等について	17
5. 問い合わせ	20

## はじめに

この資料では、電子請求受付システムをはじめて利用するにあたり、導入作業を行う準備から請求事務等を行うまでの作業の流れについて説明します。

#### 請求を受け付けるしくみ



### 表記の規則

この資料は、以下の規則に従って記述されています。

記述形式	意味
太字(bold)	特に注意すべき点を示します。
[]<<り	任意の文字、文章を示します。
[]	画面名を示します。
(X)	項目名を示します。

#### ※ なお、本資料は Windows® 10 及び Internet Explorer® 11 を利用した場合の画面例を掲載しています。

#### 略称について

この資料では、名称は略称で記述されています。

略称	正式名称
国保連合会	国民健康保険団体連合会
国保中央会	国民健康保険中央会

#### 登録商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は
   米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader、Adobe PDF ロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システム ズ社)の商標です。
- その他、本資料に記載されている会社名、製品・サービス名は各社の登録商標、または商標です。

## 1. 作業の流れ

電子請求受付システムをはじめて利用するにあたり、導入作業を行う事前準備から請求事務等を行うまでの作 業の流れについて説明します。



## 2. 導入作業の準備

電子請求受付システムの導入作業の準備として、動作環境の確認及び[電子請求受付システム 導入マニュ アル(事業所編)]をダウンロードします。

なお、[電子請求受付システム 導入マニュアル(事業所編)]をダウンロードするためには、電子請求受付シス テムにログインする必要があります。

また、電子請求受付システムにログインするためには、国保連合会より通知される「電子請求登録結果に関するお知らせ」(代理人の場合、「電子請求代理人登録結果に関するお知らせ」)が必要となりますので、お手元に 準備してください。

#### ①動作環境を確認する

障害者総合支援電子請求受付システムを利用するうえで必要となるパソコンの動作環境を確認します。 使用されるパソコンが、障害者総合支援電子請求受付システムの【動作環境】画面に記載された要件を満 たしていることを確認してください。



() (-) (	- 🗆 × ଜୁନୁ 🖗 🤒
	<u> </u>
<ul> <li>マーンド</li> <li>マーンド</li> <li>ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A)</li> <li>マーンド(P) マー・ド</li> </ul>	A)

- タスクバーの 2 をクリックします。 なお、Windows 10 の場合、タスクバーに 2 が初期表示されません。タスクバーへの 2 の 表示方法については、[P7 Point ! Windows 10 でタスクバーに Internet Explorer のアイコン を表示する方法]を参照してください。
   Windows 8.1 の場合、デスクトップが初期表示されません。デスクトップの表示方法につ いては、[P6 Point ! Windows 8.1 でデスクト ップを表示する方法]を参照してください。
- Internet Explorer が起動するので、 アドレスバーに[http://www.e-seikyuu.jp]と 入力し、→ をクリックします。



3. 【電子請求受付システム 総合窓口】画面が 表示されるので、 MEARAXROWARLESS をクリックし ます。



4. ログイン前の【お知らせ一覧】画面が表示されるので、《トップメニュー》より よう をクリックします。

お知らせ一覧	n an	CONTRACTOR OF STREET		
市の市場目に行ってい	に事を表示 全ての	記事を表示		
更新日作	t	94	FIF	^
2017/04/17	New	A DECEMBER OF STREET, STRE	Reading of the	
2017/01/25	-	-		
2016/07/19				
2016/04/18	-	and the second	and the second second	
2016/04/14		-		
2016/04/14	and some of			~
	ソフトウェア名	更新日付	バージョン	
サポートソフト	ウェアインストーラ			
マニュアル	ビューア		10001000	
問い合わせ	* 葉入力		100011000	
NOA2518ンス 論見したいつ	テム テル(物理2022)・サービット			
簡易入力シス	テム(地域生活支援事業)	Concession of the	Construction of the local division of the lo	
簡易入力シス	テム(障害児支援)	And in case of the	Appendix of the local division of the local	

5. 【動作環境】画面が新しい画面で表示される ので、お使いのパソコンが動作環境を満たし ていることを確認してください。

^

電子研究文刊システムを利用	9 名称に、公安となる動作F編成ははよりの通りです。
α	・Microsoft®0 Wirdswer® 10 Home / Pro / Enterprise ・Microsoft®0 Wirdswer® 81 / 81 Pro / 81 Enterprise ・Microsoft®0 Windswer® 75 Statter / Home Prenium / Professional / Enterprise / Utimate/Service Pack 1) ※日本語などっか 既及び日本語(64ビット 既のりれたどがます。  ●Microsoft®0 Windswer® 7のStatter / チャンコンは、限定用途で使用するスモールノートやC での 利用を有能性にだおり、電子相応支付テンチルで必要する点面の解像版が確保できない場合があ ります。そのため、電子相応支付テンチルで必要する点面の解像版が確保できない場合があ
CPU	IntellPo Pentium#0 4 15GHz 以上(推蹼)
メモリ	Windowserの7、81及び10日本語9322~1 版の場合 1GBU上のRM(種種25512)2 Windowserの7、81及び10日本語6962~1 版の場合 3GBU上のRM(種種24512)2
ハードディスク空ぎ客量	電子請求受付システム、簡易入力システム、取込送信システム、マニュアルビューア、問い合わせ書 入力のもットマップ用に合計1GBU上 (9)ほデータップ用に合計1GBU上 (9)ほデータ属不純成が必要)
Webブラウザ	WindowsR0 Internet Explorence 11.0
Adobern Acrobat Readerm	Adobern Readern XI、またはAdobern Acrobat Readern DC Adobern Readern XI、またはAdobern Acrobat Readern IA Adobe Systeme社のホームページより、素 信がクレートできます。 ・バージョンを指定してダウンロード http://gstable.com/j/reader/othenemicne/ と上記のにれた手板に対わり目的点のににであり、変更される可能性があります。)
通信回時	インターネット回線(推奨ADSLは上)
プリンタ	印刷機能をご利用いたたく場合は必要となります。
その他	<ul> <li>電子証明書(電子請求受付ンステムより知子申請,者面)</li> <li>(職品人力システム,また)(取込送信)ンステム(電子請求受付ンステムよりダウンロードして使用)</li> <li>電子請求受付システム サポートソフトウェアインストーラ(電子請求受付システムよりダウンロードして使用)</li> </ul>

 登録術標について
 ・ Mocrael, Minterial Egiperita, BMosson Desporton の米国及びその他の面における変換機能です。

 ・ Make Reader, Adde Andreal Readord, Adde Syntems Incorported (アドビッズライズ目の商機です。

 ・ その他、ボーベリに起発されている自体、発展、サービス目在は合変な重要によったはほうの変更構成は、

図 閉じる





### ②電子請求受付システムにログインする

[電子請求受付システム 導入マニュアル(事業所編)]をダウンロードするために、電子請求受付システムに ログインします。

BHIST					
3100年1	内の記事を表示	全ての前	ゆを表示		
更	新日付		9	(FJV	
2017/04	1/17 New	10.00	C. Lawrence	States, 17 and	
2017/01	/25	-			
2016/07	7/19				
2016/04	4/18	-		and the second second	
2016/04	4/14	-	-		
2016/04	1/14	and success	100.4.1		~
最新パー	-942				
	ソフトウェアキ	8	更新日付	パージョン	
サポート	・ソフトウェアインス	トーラ	Contraction of the		
(二) [3]。)	ュアルCューア 会わせ変入力				
取込送	唐システム		print and a	Comparison of Co	
解易入;	カシステム(障害福	社サービス)	and the second s	Comparison of the local	
解易入;	カシステム(地域生	活支援事業)		100000000000000000000000000000000000000	
關聯入	カシステム(障害児	,支援)	1	Company of the local division of the local d	

 [P3~P4 ①動作環境を確認する 手順1.~
 3.]を行うことで、ログイン前の【お知らせー 覧】画面が表示されるので、《トップメニュー》 より た クリックします。

【ログイン】画面が表示されるので、「電子請 2. 電子請求受付システム ユーザロとパスワードを入力して、 パスワード 🗌 (a) R 5 1 ログイン 《事業所の場合》 電子請求登録結果に関するお知らせ ×××事業所 平成19年6月1日 つの国民健康保険団体連会会 障害福祉サービス費等の電子語2、に関し、下記のとおり登録いたしましたので、 ご連絡いたします。 事業所番号 5010 000001 Т ⊤sss-ssss ⊖( 〇ムム市××町1-T 住所 事業所名 ×××本葉? TJ5010000001 テストID (仮)パスワー| 大文字 大文字 小文字 大文字 小文字 小文字 数字 数字 数字 数字 数字 T A b C d E f 0 0 0 0 1 証明書発行用バスワート 小文字 大文字 | 数字 | 数字 | 大文字 | 小文字 | 小文字 | 小文字 | 数字 | 小文字 | 大文字 《代理人の場合》 電子請求代理人登録結果に関するお知らせ 代理事業所A 殿 発行日 平成 26年09月01日 ○○○国民健康保険団体連合会 介護給付費等の電子請求に関し、下記の通り登録いたしましたので、ご連絡いたします。 HD1399999999 テストユーザ I D TD1399999999 代理事業所A 法人名 役職・部署名 所長 氏名または代表者名 代理人 一郎 電話番号 00-0001-0001 FA×番号 00-0001-0002 メールアドレス dairi@jp 〒111-1111 〇〇〇国保市国保町2-2-2

住所

叙バスワード

瞬間 書 敬 行 用 パス ワード

求登録結果に関するお知らせ」に記載され ている[ユーザID]及び[仮パスワード]を《ユー ザID》欄及び《パスワード》欄に入力し、 「 ログイン をクリックします。 ※ ユーザ ID 及びパスワードは、「テスト用]

- 及び[本番用]があります。[テスト用]は接 続確認等を行う際に使用し、「本番用]は 本番の請求等で使用します。
- ※ 導入作業の準備は、[テスト用]、または [本番用]のどちらの[ユーザID]及び[パス ワード]を使用しても行えます。 なお、国保連合会より[本番用]が発行さ れるまでの間、「テスト用」を用いて導入作 業を進めます。
- ※ 代理人の場合、「電子請求代理人登録 結果に関するお知らせ」に記載されてい る[ユーザ ID]及び代理人申請電子請求 受付システムにおいて変更した[パスワ ード]を《ユーザ ID》欄及び《パスワード》 欄に入力します。

Point ! ユーザID のロックについて

3回連続して誤ったパスワードを入力した 場合、ロックがかかり一時的に無効になりま す。この場合、ロックがかかってから30分間 は、正しいパスワードを入力してもログインで きません。30分後に自動的に解除されます ので、正しいユーザ ID 及びパスワードを入 力してログインしてください。

Point! パスワード入力欄について

パスワード入力欄に入力した文字は、 「●」で表示されます。入力欄の 🐢 をク リックすることで、入力した文字を確認する ことができます。







- 4. 【パスワード変更】画面が表示されるので、
   《現在のパスワード》欄に[手順 2.]で入力した 仮パスワードを入力します。
   《新しいパスワード》欄に新しく考えたパスワードを入力し、確認のためにもう一度《新しい パスワード(確認用)》欄に入力し、
   ※
   ※
   ※
   ※
  - ※ 仮パスワードと同一のパスワードには変 更できませんので、注意してください。
  - ※ 電子請求受付システムにはじめてログイ ンした場合、【パスワード変更】画面が表 示されるので、必ずパスワード変更を行 ってください。





			¢ <b>.</b> 1070⊧
処理終了	最終ログイン日時 2017年04月17日 11時24分18校	テスト	● 時刻 141917
1 バスワード変更 2 終7	バスワードの変更を完了しました。		
			长了

ログイン後の【お知らせ一覧】画面が表示され、電子請求受付システムにログインした状態となります。



## ③導入マニュアル(事業所編)をダウンロードする

電子請求受付システムの導入作業の準備として、[電子請求受付システム 導入マニュアル(事業所編)]をダ ウンロードします。

	8105tt	Ra-R	FAQ	9=17/b	*****	記明書	ユーザ情報変更	* <b>5</b> 19791	
お知らせー	<b>X</b> C	はログイン日時 2017	/社04月17日	118524591819	1	F21	(	-)	
	H2	(期間内の記事を表示)		諸の記事主要用	法建设法	日本を表示	全ての記事を	表示	
	I.A.	81 90%DC148)	Ach.						

 2. 【マニュアル】画面が表示されるので、[障害者総合支援電子請求受付システム事業所マニュアル]の ▲ ## をクリックします。
 ※ Point!マニュアルの説明について 各マニュアルの内容を確認したい場合、マニュアルの《ファイル名称》欄にある《説明▼》 をクリックすると、クリックしたマニュアルの説明 を確認できます。

マニュアルの一覧へ戻る場合、説明の右下に 表示されている、《<u>▲トップへ戻る</u>》をクリックしま す。

	C C/CdC %			
271ル名称 第1889-588-578-566-579-588-57-5	711	現新日	2710/942	
コフルビューアマニュアル	(100) V		41,006,000 Ey/ce	
い合わせ驚入力マニュアル	EBUL .	-	5,710,5028948	6
子請求受け 認証サービス利用規約	EBNH A	and the second second	5,532,351Byte	
子请求受付 直到200点通用规程	this A		545,640Byte	
子請求受付 利用煤的	1991 V		an cloca byte	0
子体求受付 重加的环境研究素和的科学	<u>E089 ¥</u>	-	273,938Byte	
	199		134,506Byte	
(新人力システム) ファイル名称		更新日	7716912	1 3
参書福祉サービス】開発人力システムマニュアル	DRR V	and states	77,967,302Byte	2
8城生活支援事業】簡易入力システムマニュアル	LERR V	10000100-000	29,176,311 Byte	2
<b>辛害児支援】簡易</b> 入力システムマニュアル	Ben y	percent	51.277.962BAte	6
職入力システム王師表	ERN 🗸	meters	219,471 Byte	0
[込退信システム]		Westa	72101117	
記述信システムマニュアル	tail 🔻	20010	11,763,762Byte	6
	1000.4			
各種マニュアルの説明を記載します。				
EMD				
害者総合支援電子請求受付システム事業所マニ	a714			
(時間語)サービス登録のパータースート時間につ	Street to b			
い合わせ読入力マニュアル 《電子師未定行システム 操作マニュアル(語、音) 語、音わせ読入力を利用して、入力したが 子請死受付 認証サービス利用洗約	らせ悪人力編 留き印刷しまた	D M == KE par≫ SIAPOF (SR # 4	ቆስወወ <b>ነቶ</b> ችም <u>።</u> 17	▲± 7ルで ▲±
《電子請求受付システム認証サービス利用規約p	dr.)	and a second		
<電子請求受付システム認証サービス利用規約の 電子請求受付システムで使用する認証サー	dr》 ビスの利用用	wet.		<b>▲</b> E
<電子研究受付ンステム認証サービス利用規約の 電子研究受付システムで使用する認証サー 子請究受付 専用認識局運用規程 <電子研究受付システム電用認証局運用規程を#	dr》 七スの利用用 》	wet.		<b>▲</b> .E:
<電子値未定付システム設計サービス共同規定の 電子証未定付システム設計サービス共同規定の 子舗未定付やステムで使用する設計サー 子舗未定付システム電用設計通用規定 電子値未定付システム等相応計画を最高に記 電子値未定付システムで利用する最高に記	dr) ビスの利用用 ) このの東用用和	W77.		<b>▲</b> Es
<電子値未定付システム設計サービス共同規定の 電子線未定付システム管理用する認証サー 子師未定付システム電用認証を運用規定 電子値未定付システム電用認証を運用規定の 電子値未定付システムで利用する原用認証 子舗未定付システムで利用する原用認証 子舗未定付 利用規定)	dt》 ・ビスの利用用 》 【私の資用規則	Rid.		▲ha
本学科学校会社シスタム2027 - ビス和明明から 学校大学校・シスタムで使用する回びラー 「小売売売村 毎月12回から用いた」 本学社会会社・シスタム 専用回記編集制発展 電子社会会社・シスタム 専用回記編集制発展 電子社会会社・シスタム 年期回知。 本学社会会社・シスタム 54(明年54)にの為 電子社会会社・シスタム 54(明年54)にの為 電子社会会社・シスタム 54(明年54)にの為 電子社会会社・シスタム 54(明年54)にの為	dr》 七スの利用用 》 【明の道用規則 [1]です。	Rica.		▲ E
・電子線水気付いスタム2027年一ビス和明明から 電子線水気付いスタム2027年で、 「都水気付いスタム2027年で、 電子線水気付いスタム2028年での2027年で、 電子線水気付いスタム248月間を2027年で、 電子線水気付いスタム248月間を2027年で、 電子線水気付いスタム248月間のため5 電子線水気付いスタム348月間のため5 電子線水気付いスタム348月間のため5 電子線水気付いスタム348月間のため5 電子線水気付いスタム348月のたでの消費をたての消費。	njsa Notanin Njsa	WC4. IC4.		▲ E-
《単子線大会行シスタム2017年、一之ス和明明か 電子線大会行シスタム2017年、 「お木会行」期間2556月19日 電子線大会行シスタム第四555月3月19日 電子線大会介シスタム第四555月19日 電子線大会介シスタム54月1日 電子線大会介シスタム54月19日かかう 電子線大会介シスタム54月19日かかう 電子線大会介シスタム54月19日かかう 電子線大会介シスタム54月19日かかう 電子線大会介シスタム54月19日かかう 電子線大会介シスタム54月19日かかう	ar» E2.04089 NBO #ABA	unca. Ita.		▲ b:
電子構築会社シスタム設計・一之ス和明明から 電子構築会社シスタムで使用する起ビナー 子都大売村・スタムで使用する起ビナー 電子構築会社・スタムで使用する最近ビナー 電子構築会社・スタムで利用する構用に対 電子構築会社・スタムで利用する構用に対 電子構築会社・スタム、利用する構用に対 電子構築会社・スタム、利用する構用に対 電子構築会社・スタム、利用するしたでの用 電子構築会社・スタム、利用するたとでの用 電子構築会社・スタム、利用目的にある 電子構築会社・スタム、利用目的にある 電子構築会社・スタム、利用目的にある 電子構築会社・スタム、同様の目前を通 電子構築会社・スタム、原用目的になった。このの目的に対していた。     電子構築会社     電子構築会社     電子構築会社     電子構築会社     電子構築会社     電子構築     電子構築会社     電子構築      電子構築     電子構築     電子構築     電子構築     電子学業     電子業     電子業      電子業     電子業     電子業     電子業     電子業     電子業     電子業     電子業     電子業     電子業      電子業      電子業      電子業      電子業     電子業      電子業      電子業      電子業      電子業      電子業      電子業      電子業      電子業       電子業       電子業       電子業      電子業      電子業	d7》 ビスの利用用 別の適用用項 開の適用項目 開です。 注意表cd1》 藩のお金表1	W764. 1774.		▲!
《単学校常会性シスタム設計・一之ス利明明か 学校研究性シスタムの設計する起ビナー 子は研究性は、利用に設定が新用時間に 《単学校学校・スタム、単規定に展用を設定す 電子体完全性シスタムで利用する単規定 「学研究会社」4月明瞭的 の一業子体完全性シスタムで利用時のかの 単子体完全性シスタムに利用時のかの 単子体完全性シスタムの利用されたのの 「学研究会社」なの、利用に定意知られ時かのあ 電子体完全性シスタムの原用された日本の 電子体完全性シスタムの原用されませんの 電子体完全性シスタムの原用されませんの	が <sup>30</sup> ゼスの利用州 30 (約0運用規則 41です。 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月2日30 420月21 420 420 420 420 420 420 420 420 420 420	W104. 874.		۸۱. ۸۱.
《単学校常会性シスタム2027年一之ス和明明から 学校部会性シスタム2027年一之ス和明明から 2027年また。 「本本を会社 明知記録が新用地図」 《電子体会会性シスタムで利用する単の明白 で、電子体会会性シスタムで利用する」での通 「本本会会社 明明知知」 《電子体会会性シスタム、19月前日から 電子体会会性シスタム、19月前日から 電子体会会性シスタム、19月前日から 電子体会会性シスタム、19月前日から 電子体会会性シスタム、19月前日から 電子体会会社シスタム、19月前日から 電子体会会社シスタム、19月前日から 電子体会会社シスタム、19月前日から 電子体会会社シスタム、19月前日の一方 電子体会会社シスタム	が》 ゼスの利用用 》 (約53)用規制 単1です。 注意表call》 3番のお金衣1	LUTC'T. 1777.		• 1: • 1: • 1:
▲学科研究的シスタム間違一・ビス和明明か 展子科研究的シスタムで説用する超过す。 子語未完計・時間に起かる用限にない。 電子体系完計シスタム、専用認識系展示研究は。 電子体系完計シスタム、専用に調査用研究は、 電子体系完計シスタム、専用に加入 業子体系完計シスタム、年期に加入 電子体系完計シスタム、年期に加入 電子体系完計シスタム、年期に加入 展子体系完計シスタム、年期に用いたの 電子体系完計シスタム、年期に開始目的 展子体系完計シスタム、原用する電子経动 電子体系完計シスタム、原用する電子経动 電子体系完計シスタム、原用する電子経动 電子体系完計シスタム、原用する電子経动 電子体系完計シスタム、原用する電子経动 電子体系にシスタム、空気の用する電子経动	ar》 ゼスの利用用 2) (約5)重用規則 (約5)重用規則 (約5)重用規則 (約5)重用規則 (約5)重用規則 (約5)重用規則 (約5) (約5) (約5) (約5) (約5) (約5) (約5) (約5)	LUTC'T. 1777.		• 1: • 1: • 1:
《単子体気がいシストムロークス利用用か 電子体気がいシストムで使用する面がす。 「非未完か」相同認識が通用地型 《単子体気がいシストムで使用する面がす。 「すまただい」スタムで使用する構成です。 電子体気がいったり、本ので使用する構成です。 「すまただい」スタムで使用する構成です。 「すまただい」スタムに用意いたので 電子体気がいったり、本の可能であったのでは 「すまただい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」」、 「すまたたい」、 「すまたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたい」、 「すまたたい」、 「すまたたい」、 「すまたい」、 「すまたたい」、 「すまたい」、 「すまたい」、 「すまたい」、 「すまたい」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「	er》 ビスの利用用 2000道用用項 (4)1です。 2000万を表し 2000万を表し かい(例を希望	WYC4. 274. С4.		
▲学業総営行シスタム営業・ビス利用県か 電子総営行やスタムで使用する電子・ 「非常売付か」の単数に置いたので、 電子総営行やスタムで使用する電子・ 「非常売売付か」のなって利用する電子ので、 電子総営行やスタムで利用する正なので、 電子総営行やスタムの単数に関いたので、 電子総営行やスタムの単数に関いたので、 電子総営行やスタムの単数に関いたので、 電子総営行やスタムの単数に関いたので、 電子総営行やスタムの単数に関いたので、 電子総営行やスタムの単数に関いたので、 電子総営行やスタムの単数に関いたので、 電子総営行やスタムの1000円から電子を引 して、スタムの1000円のから、 電子総営行やスタムの単数について、 こので、 「国際電気」で、 こので、 「国際電気」で、 こので、 」の単の、	er》 ビスの利用用 2000 連用規則 410 です。 マニュアル カン(陸軍車組 東所が実際)	руса. Ст. Б.ж. Юсен КЮ.ст. № К.	18時等を作成。送信 1869年を作成。送信	▲ 1. ▲ 1. ▲ 1.
	er3) ビスの利用用 2) (時の運用現在 単1です。 注意表cat3) (時です。 マニニンパ カ)(時客毎編 実行の実施)(前名 (日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)(日本)	ылся. Ест. Ся. Юсан Б.Я. Юсан Б.Я. Ю	職業等で作成。 道信 第1755年、 月1日 第1755年、 月1日 第1855年 17555年、 月1日 1115年 11155 11	▲ E- ▲ E- ▲ E- ▼840-
▲学業研究的シスタム設計→一とス和明瞭か 単常体究的シスタムの設計する設計→ 「お本売付」 相同認識が通用状態」 ▲電子体決合いたスタムの構成認識構成的ない 電子体決合いたスタムの構成認識構成的ない 電子体決合いたスタムの構成になった。 電子体決合いため、 電子体力のないため、	at3 ビスの利用用 2000年6月1日 2000年6月11日 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月11111 2000年6月1111 2000年6月1111 2000年6月111111 2000年6月1111111 2000 2000 20005 2000 20005 20005 20005 20005 20005 20005 20005 20005	раста ст. ст. Б.щ. Поли т. Поли ост. 0.110 д. 10.110 d. 10.110 d.	■新興を作成。、近日 100 <sup>3</sup> 「新興等を作成」、近日 「新興等を作成」、近日	▲ E: ▲ E: ▲ E: ▲ E: ■ E:
《単学校学校小クスと設計・一くス利明知の 単学校学校小クストに関する記述サー 「本本大学社」相同記述が通用状態」 《単学校学校小クストス 明確認知識相対ない 電子体学校小クストス 単規制である 電子体学校小クストス 単規制である 電子体学校小クストス 5月 (電子校学校小クストス 5月 (電子校学校小クストス 5月) (電子校学校小クストス 5月) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子校学校) (電子) (電子) (電子) (電子) (電子) (電子) (電子) (電子	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	Lifです。 Eです。 D.展 昭period FF用、て、請求 J. 「「「「「」」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」	- ●御寄を作成。送信 50 <sup>-3</sup> 「万字県、戸道政府 現明、九時市マニュ7	▲上 ▲上 ▲上 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
ページングスクシムロジェー・ビス和規則の 、電子は水気付いクシム、2014年でも回ジェー 、デホステムト、1000年で、シーンスの構成に入れた 、電子は水気付いクラム、単規目に満足用地度は、 電子は水気付いクラム、単規目に満足用地度は、 電子は水気付いクラム、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、 で、 「中心」、1000年で、 「中心」、1000年で、 1000年で、 1000年で、2010年の、この、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、 この、1000年で、 1000年で、2010年の、この、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、この、1000年、 「日本、1000年で、2010年の、この、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、この、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、この、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、この、1000年で、 電子は水気付いクラム、1000年で、この、1000年で、 1000年で、2010年の、この、1000年で、 1000年年の、1000年の、1000年年の、1	が30 ビンスの利用則 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	LHTです。 Eです。 Cです。 D.第 100-043 / 54円、て、結束 ひっけお)、第 100-044 / 54円、ひっけた 読まない ひっけおう 声 100-044 / 54円 (日本語社サービー)	18年春を作成。, 送信 164 <sup>35</sup> 1545年、日本体業者 1549月、2月中マニュス 2月月、2月中マニュス 2月1日、日本	▲上 ▲上 ▲上 オー 本上 オー オー 大 の オー 、 し 、 、 し 、 、 し 、 、 し 、 、 し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
	がわ シン 日本の の 市です。 ・ ・ ここの た か の で 本 の の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の っ ま の っ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	UTです。 まです。 こです。 し、東	- 種類等を作成。、適価 54-3 71分岐、非確認実育 線(3)、244年マニュフ (2)1時後、カットマチョ 2)1時後、カットマチョ	L:     L:     L:     the construction of
	は2 シートンの利用則 一 シートンの利用則 にてき、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul> <li>BYCマチ。</li> <li>ECマチ。</li> <li>Cマチ。</li> <li>Cマチ。</li> <li>AD (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株)</li></ul>	18戦略を休成。、送信 1943年 7月が3日、東京 2019年、2月 2月1日、1943年 2月1日、1945年 2月11日	▲上 ▲上 ▲上 ・ 本上 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	400 ビスの利用則 か、 小のの有用則 いです。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1075年。 1075年 1075年。 1075年 1075	機関等を作成。 高信 6≠35 71万分数、計画部等省 58月25時中で二コ (21勝風入力システィ (21勝風入力システィ (21勝風入力システィ	
<ul> <li>************************************</li></ul>	は2 シスの利用則 いです。 マニンズが マニンズが 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	立てす。 二 です。 こです。 し、 取っから、 加定 の、 取っから、 加定 の、 取っから、 加定 の、 取っから、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の	(周期等を作成)、送信 j=0 <sup>-3</sup> (第二時間)、可能規模項 低点示 (第二時間人力の2.7) (第1時見入力の2.7) (21時間人力の2.7)	
<ul> <li>ページスタスの2017 - インス利用時の 電子は水気付いクタムの2017 - インス利用時の 電子は水気付いクタム、70年期でも回ばす 電子は水気付いクタム、70年期でも回ばす 電子は水気付いクタム、70年期でも回びす 電子は水気付いクタム、70年期でも回びる 電子は水気付いクタム、70年期でも回びる 電子は水気付いクタム、70年期でも回びる 電子は水気付いクタム、70年期でも回びる 電子は水気付いクタム、70年期でもごでの 電子は水気付いクタム、70年期でもごでの 電子は水気付いクタム、70年期でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でも平日の 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いのです。 電子は水気付いのでもこの での 電子は水気付いクタム、70年間でもごでの 電子は水気付いのです。 電子は水気付いのです。 電子は水気付いのです。 電子は水気付いのの 電子は水気付いののの 電子は水気付いののの 電子は水気付いののの 電子は水気付いののの 電子は水気付いののの 電子は水気付いのののの 電子は水気付いのののの 電子は水気付いのののの 電子は水気付いののののの 電子は水気付いのののの 電子は水気付いののののののの 電子は水気付いのののののののの 電子は水気付いのののののののののののの 電子は水気付いのののののののののののののののののののののののののののののののののののの</li></ul>	がう センスの利用則 う、 なめつ道用規則 は彼のが当来見 いです。 ・ なまたりが主義 かい行動電子の加速 かい行動電子の知道の かい行動電子の知道の かい行動電子の知道の たい対わった またいのし、 たいわし、 の の の の の の の の の の の の の	(1)(1)(4)、 (1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4)、(1)(4),(1)(4)	- 電撃等を作成し、通信 500 <sup>35</sup> 1755年、単連載等電 500年、大阪市マニュ7 215時長、カロンスティ 215時長、カロンスティ 215時長、カロンスティ 515時長、カロンスティ 515年5	
	がう センスの利用則 う 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(1)(1)(4)     (1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	L:     L:    L:    L:    L:    L:    L:    L:     L:     L:     L:     L:
	かう とどえの中期期 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	4070年。 立て年。 こで年。 こで年。 二の単一回の日本の 二の目本の 二の一日本の 二の一日本の 二の一日本の 二の一日本の 二の一日本の 二の一日本の 二の一 二の一本の 二の一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	増新等を分成の。送信 1963年 1958年、2018年 2018年、1958年、1957年 2018年、1957年、1957年 1958年、19579年、1957944年、19579800000000000000000000000000000000000	
	がう シレクションの利用用 いてす。 そこってアル なたってアー なたったったっ なたったったっ なたったったっ なたったったっ なたったったっ なたったっ なたったっ なたったっ なたったっ なたったっ なたったっ なたったっ なたっ な		職業等を作成。、送信 しかう 下が安め、単金体業者 低のの 、 (2) 類色人が特々でニョブ (2) 類色人がタンスティ (2) 類色人カンスティ (2) 数色人カンスティ (2) 数色人カンスティ (2) 数色人カンスティ (2) 数色人カンスティ (2) 数色人カンスティ (2) 数色人カンスティ (2) 数色人のシスティ (2) 数色人の (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	▲上 ▲上 するた 細田及び ないの日 いいの日 まするた 細田及び のいの日 まするた 細田及び のいの日 まするた
	かう センスの利用則 うた 日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「細胞の道用用則 「日のです。 「一のです。 「一のです。 「一のです。 「一のです。 「一のです。 「」ので 「」のです。 「」のです。 「」のです。 「」のです。 「」ので 「」ので 「」ので 「」ので 「」ので 「」ので 「」ので 「」の 「」ので 「」の 「」の 「」の 「」の 「」の 「」の 「」の 「」の	three 4	福田等を作成。 送信 (本) 下げ受視、日道総要項 (の) にの) (2) 騎馬人 カンスティ (2) 騎馬人 カンスティ (2) 騎馬人 カンスティ (2) 騎馬人 カンスティ (2) 騎馬人 内ンスティ (2) 防 (2) 防 (2) 防 (2) (2) 防 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	▲上 ▲上 するた 和の ないの 日 まし の ないの 日 の ないの 日 の ないの 日 の ないの 日 の い の の の の の の の の の の の の の
	かう センスの利用用 う と称の意思な見 したです。 ・ 主義かが主義代 ・ なここの「か です。 ・ この「か です。 ・ この「か です。 ・ この「か です。 ・ この「か です。 ・ この「か です。 ・ この「か です。 ・ この「か この「の この この この この この この この この この こ	three 4 です。 です。 です。 です。 です。 です。 の (M) 100-000 (M) 100-0000 (M) 100-0000 (M) 100-0000 (M) 100-0000 (M	<ul> <li>(市町等を作成)、送信</li> <li>(a+2)</li> <li>71728日、非当該等省</li> <li>第188日、方田・マニュンス23第5人 カンスティンス3</li> <li>(2)3第5人 カンスティンス3</li> <li>(2)3第5人 カンスティンス3</li> <li>(2)3第5人 カンスティンス4</li> <li>(2)3第5人 カンスティンス5</li> <li>(2)3第5人 カンス5</li> <li>(2)35人 カンス5</li></ul>	▲上 ▲上 オ上 オート オート オート オート オート オート オート オート
	かう とどえの利用用 う、 取の立事用度 に下です。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ててす。     ての「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」では、     ての」の「部本」をいう」     ての」の「部本」をいう」     ての」の「部本」をいう」     ての」の「部本」をいう」     ての」の「部本」をいう」     ての」の「第本」をいう」     ての」の     ての」の     ての」の     ての」の     ての」の     ての」の     ての」の     ての     での     ての     ての     ての     での     で	「期等等を作成」、通信 50% 175%日、単価数等質 低かぶ 201時人た時中マニュ7 215時人、力がスティ (215時人、カンスティ (215時人、カンスティ (215時人、カンスティ (215時人、大学) (215時人、大学) (215時人) (215時人) (215時人) (215時人) (215日人) (215 (215)(215)(215)(215)(215)(215)(215)(215)	▲上 ▲上 するた 転の取 ないの可 にいの可 にいの可 にいの可 にいいの可 にいた にいた にいた にいた にいた にいた にいた にいた
<ul> <li>ペーデス研究がしのように対して、 ・マスコールの、 ・マスールの、 ・マンド、 ・マンド、 ・マンド、 ・マンド、 ・マンド、 ・マンド、 ・マンド、 ・マンド、</li></ul>	かう とどえの中期期 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	three 4 です。         です。         です         です         です	「御琴幸を休成」、送信 50 <sup>-3</sup> 下が安め、東京都等単 部の 第40人大師中でニュア 21. 第8人入が中でニュー 21. 第8人入のシスティ 21. 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第8人入のシスティ 21. 第4人、 21. 第4人、 21. 第4人、 21. 第4人、 21. 21. 21. 21. 21. 21. 21. 21.	
	かう とどえの中期期 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	three 4	(制管等を作成)、送信 (a)(3) (4)(3)(3)(3)(3)(3)(3)(3)(3)(3)(3)(3)(3)(3)	▲上 ▲上 オキるた 第日取び ないの日 第1するた 第日の次 のの割 第日の次 のの割 第日の次
	かう としての中国制 してです。 なこうなり、 ないです。	ロウです。	(数学者を作成)、活動 (a)2 下す5年、11 (a)2 下す5年、11 (3)3 (3)3 (3)3 (3)3 (3)3 (3)3 (3)3 (3	▲上 ▲上 オキるた 解記及び ないの日 まするた 解記及び のの詳 解記及び 本上 またのう にいの日 にいのの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にいの日 にのの日 にいの日 にのの にのの
	かう センスの利用則 か、 日のです。 「なたす。 「なたす。」 「なたす」 「なたす。」 「なたす 「なたす。」 「なたす。」 「なたす 「なたす 「なたす 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、	three's.	種様等を作成。 差値 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	<ul> <li>▲上</li> <li>▲上</li> <li>▲上</li> <li>オるた</li> <li>第日及び</li> <li>パッマ目</li> <li>▲レマ目</li> <li>ホッマ目</li> <li>▲上</li> <li>第日及び</li> <li>▲上</li> <li>第日及び</li> <li>第日及び</li> <li>第日及び</li> <li>第日及び</li> </ul>
	がう センスの利用用 う と称の道用用用 にです。 ・ 注意のが出来れ ・ なまたが見た。 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		(職業等を作成)、送信 (本) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	
	かっ センスの利用用 う とのです。 したでする したです。 したでする したです。 したでする したででする したででする したででする したででする したででする したでする したでする したでで したでで したででする したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したでで したで した		(周期等を作成)、送信 (a) <sup>3</sup> (a) <sup>3</sup> (b) <sup>3</sup> (b) <sup>3</sup> (b) <sup>3</sup> (c) <sup>3</sup>	
<ul> <li>(本学校研究内シストム) 一支加速などのシストム(地) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	かう とどえの利用則 か、 原の立用用則 にです。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1075年。 1777 1777。 1777 177	(明確率を決成)、送信 (pe) <sup>3</sup> 下が安め、当時高大の (2) (別 職人) (2) 職人) (2) (2) 職人) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	
ペーデジネステレーンス利用時の ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然ナー ・ボーンスクル、同胞にする自然 ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、 ・ボーンスクル、同胞にする自然ので ・ボーンスクル、 ・ボーンス	かう とどえの中期期 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	three 4	(職等等を作成)、送信 (a)(5) 7)が50(1)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)	
ペーデジネステレーンス利用時の モアジネステレンタンに開催する目的シー ペーデジネステレーンス利用時に入り、 ペーデジネステレーンス単純的な ペーデジネステレーンス単純的な ペーデジネステレーシュンで利用する目的シー ペーデジネステレーションで利用する目的シー ペーデジネステレーションで利用する目的シー ペーデジネステレーションで利用する目的シー ペーデジネステレーションで利用する目的シー ペーデジネステレーションで利用する目的シー ペーデジネステレーションで利用する目的シー ペーデジネステレーションで利用する目的シー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンクシー ペーデジェンク・ ペーデジェンク・ ペーデンシー ペーデジェンク・ ペーデジェンク・ ペーデンシー ペーデン      ペーデンシー ペーデン      ペーデンシー ペーデン       ペー ペーデン       ペー ペー ペー	かう としての中期期 して、の中期期間 して、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	three 4	(日間等を作成)、送信 (ロネ) 下す気候、単金編集項 低のぶ) 「対策県人大特ヤマニュブ (大) 第8人、カッンスティ (大) 第8人、カッンスティ (大) 第8人、カッンスティ (大) 第4人、カッンスティ (大) 第4人、大学 (大) 第4人 (大) 第4人、大学 (大) 第4人、大学 (大) 第4人 (大) 第4人) (大) 第4人、大学 (大) 第4人) (大) 第4) (大) 第4人) (大) 第4人) (大) 第4) (大) 第4) (-) 第	▲上上 ▲上 ▲上 本上 本上 本上 本上 本上 本上 本上 本上 本 た 、 本 上 、 本 上 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

込送信ンステムマニュアル 《電子技术党付システム 操作マニュアル(取込送信曲) 東 回っす》 取込送信システムを利用して、結末情報編を取り込み、送信するための操作マニュアルです。

▲トップへ開る



🛃 名前を付けて保存		×
← → ✓ ↑ ■ > PC > デスクトップ	✔ ひ デスクトップの検索	Ą
ファイル名(N): ファイルの塩類(T): アプリケーション		~
マ フォルダーの参照(B)	保存(S)	キャンセル

🛃 名前を付けて保存						×
← → ~ ↑	> PC	» デスクトップ	ڻ ~	デスクトップの検索		<i>م</i>
整理 ▼ 新しいフォ	ォルダー				B== •	?
PC	^	名前 ^	3	<b>E</b> 新日時	種類	
	_	@ 電子請求受付システム	2	016/09/06 10:44	ショートカット	
📃 デスクトップ						
Ε Γキュメント						
📰 ピクチャ						
🔢 ビデオ						
🎝 ミュージック						
🏪 ローカル ディスク	(C					
🕳 ローカル ディスク	(F:					
🥏 ネットワーク	v -	¢				>
ファイル名(N):		CONTRACTOR CONTRACTOR				~
ファイルの種類(T):	アプリケ	ーション				~
▲ フォルダーの非表示				保存(S)	キャンセノ	<b>ا</b>



@	exe はダウンロードしたユーザー数が少ない	したユーザー数が少ないため、PC に問題を起こす可能性があります		
•	削除(D)	実行(R)	ダウンロードの表示(V	)

- 画面下部に通知バーが表示されるので、

   (##10) をクリックし、表示されたメニ ユーより《名前を付けて保存(A)》をクリックします。
- 【名前を付けて保存】画面が表示されるので、 画面上部に表示されている保存先を確認し、 変更したい場合、《フォルダーの参照(B)》を クリックします。
  - ※ 保存先を変更する必要がない場合、そのまま ##「5」をクリックし、[手順 6.]に 進んでください。
- 5. 保存先を選択する画面が表示されるので、 任意のフォルダを指定し、 (##6) をクリック します。(ここではデスクトップに保存します。)
  - ※ 本資料では、デスクトップにダウンロード した場合のインストール手順を説明して います。 任意のフォルダにダウンロードしたい場 合、ダウンロード先を変更してください。
- ダウンロードが完了すると、画面下部の通知 バーに[ダウンロードが完了しました。]と表示 されるので、×をクリックします。
  - ※ 通知バーに警告のメッセージが表示され ることがありますが、ダウンロードしたファ イルに問題はありませんので、\* をクリッ クしてください。

7. デスクトップにアイコンが表示されるので、ダ ブルクリックします。



 1 C4
 単数約257/Loce
 - ロ ×

 Arcmanaser SelfExtract
 Jacamaser SelfExtract
 Jacamaser SelfExtract

 Cayright (E), PUILTSULEDTRIVES INC. 2000-2008
 Jacamaser SelfExtract
 Jacamaser SelfExtract

 CV
 Jacamaser SelfExtract
 Jacamaser SelfExtract

合支援電

受付

e

- 8. 解凍が始まります。
  - ※ 解凍中の画面は、表示されない場合が あります。

9. [手順 4.]で指定した場所(ここではデスクトップ)にフォルダが作成されるので、ダブルクリックします。



🔜   🕑 📙 🖛   20170417	障害者総合支援電子請求受付システム事業所マニュアル	-		×
ファイル ホーム 共有	表示			~ ?
オ     クイック アクセ コピー 貼り付け     スにピン留め     クリップボード		}-	選択	
← → ~ ↑ → 20	170417_障害者総合支援電子請求 🗸 👌 20170417_障害	者総(	合支援電	, p
クイック アクセス ^	名前	更	新日時	
デスクトップ ポ     ダウンロード ポ     ダウンロード ポ     ドキュメント ポ     ビグチャ ポ     20170417_陣害者     ビデオ     シュージック     OneDrive     PC     ダウンロード     デスクトップ	<ul> <li>2. 簡易入力システム(補足資料) 算 版</li> <li>2. 随島者総合支援給付支払等システム接続確認の手引き,算 版</li> <li>3. 随意福祉サービス食専のインターネット請求について</li> <li>2. 電子請求受付システム違作マニュアル(事業所編) 第 版</li> <li>3. 電子請求受付システム(補足資料) 第 版</li> <li>3. 電子請求受付システム(補足資料) 第 版</li> <li>3. 付録 電子請求受付システム(導入チェックリスト</li> </ul>			
<ul> <li></li></ul>	٢			>

- フォルダ内に、ダウンロードしたマニュアルが 表示されるので、[電子請求受付システム 導 入マニュアル(事業所編)\_第X.X版.pdf]が存 在することを確認してください。
  - ※ [X.X]は、マニュアルの版数を表します。

## 3. 電子請求受付システムの導入作業について

[P12 2. 導入作業の準備 ③導入マニュアル(事業所編)をダウンロードする]でダウンロードした[電子請求受付システム 導入マニュアル(事業所編)]を参照し、電子請求受付システムの導入作業を行ってください。

## 4. 導入作業後の請求事務等について

導入作業でセットアップした簡易入力システム、または取込送信システムを利用して、請求情報の送信等の請 求事務を行います。操作方法等の詳細については、各マニュアルを参照してください。

電子請求受付システムから取得できる各マニュアルについては、[P18 Point! 取得できるマニュアルについて]を参照してください。

各マニュアルは、[P13 2. 導入作業の準備 ③導入マニュアル(事業所編)をダウンロードする 手順 2.]で必要となるマニュアルの **き** 

※ 本番の請求は、[本番用]のユーザ ID 及びパスワードを使用します。

\*\*\*\*\*\*\*\*

## 算 Point! 取得できるマニュアルについて

導入作業でセットアップした簡易入力システム、または取込送信システムを利用して、請求情報の 送信等の請求事務を行います。操作方法等の詳細については、各マニュアルを参照してください。 なお、利用するシステムにより、参照するマニュアルが異なりますので、注意してください。

《艹通》	*	すべての事業所及び代理人の方が対象です。
(()へ)()()()	<b>~•</b> \	

マニュアル名	説明
障害福祉サービス費等のインターネット	インターネット請求の概要を知るための資料です。
請求について	
電子請求受付システム導入マニュアル	電子請求受付システムを利用するにあたって行う、システム
(事業所編)	導入作業のマニュアルです。
接続確認の手引き	実際の請求を行う前に、電子請求受付システムへの接続確
	認を行うための手引きです。
電子請求受付システム操作マニュアル	電子請求受付システムを実際に利用するにあたってのシステ
(事業所編)	ム操作マニュアルです。
電子請求受付システム(補足資料)	電子請求受付システムを利用する際に出てくる、エラーメッセ
	ージ集等の補足資料です。
簡易入力システム(補足資料)	再請求を行う方法、簡易入力システムでの請求情報の入力
	例等をまとめた資料です。
電子請求受付システム操作マニュアル	マニュアルビューアを利用して、各マニュアルを検索し、表示
(マニュアルビューア編)	するための操作マニュアルです。
電子請求受付システム操作マニュアル	問い合わせ票入力を利用して、入力した内容を印刷、または
(問い合わせ票入力編)	PDF で保存するための操作マニュアルです。
電子請求受付システム認証サービス	電子請求受付システムで使用する認証サービスの利用規約
利用規約	です。
電子請求受付システム利用規約	電子請求受付システムを利用する上での規約です。
電子請求受付システム専用認証局	電子請求受付システムで利用する専用認証局の運用規程で
運用規程	す。
電子請求受付システム専用認証局証	電子請求受付システムで使用する電子証明書発行手数料
明書利用料金表	の料金表です。

《簡易入力システム(障害福祉サービス)を利用する場合》

	判/□ シ シ 物 □ //
マニュアル名	説明
電子請求受付システム操作マニュアル	簡易入力システム(障害福祉サービス)を事業所が実際に利用
(簡易入力/障害福祉サービス編)	して、請求情報等を作成し、送信するための操作マニュアルで
	す。
電子請求受付システム操作マニュアル	簡易入力システムの詳細メニューから利用できる機能(お知ら
(簡易入力/詳細メニュー編)	せ、請求取下げ依頼、到達結果確認及び通知書類取得等)に
	ついての操作マニュアルです。
電子請求受付システム操作マニュアル	簡易入力システム(障害福祉サービス)で利用する各画面の詳
(簡易入力/障害福祉サービス編)(付録)	細について説明した操作マニュアルの付録です。
簡易入力 Ver2.1(障害者編)報酬改定	「平成 21 年度障害福祉サービス等報酬改定」に対応した簡易
入力例	入力システム Ver.2.1(障害福祉サービス)の入力事例集です。
簡易入力 Ver2.11(障害者編)報酬改定	「平成 24 年度障害福祉サービス等報酬改定」に対応した簡易
入力例	入力システム Ver.2.11(障害福祉サービス)の入力事例集で
	す。
簡易入力 Ver2.18(障害者編)報酬改定	「平成 27 年度障害福祉サービス等報酬改定」に対応した簡易
入力例	入力システム Ver.2.18(障害福祉サービス)の入力事例集で
	す。

《簡易入力システム(障害児支援)を利用する場合》

マニュアル名	説明
電子請求受付システム操作マニュアル	簡易入力システム(障害児支援)を事業所が実際に利用して、
(簡易入力/障害児支援編)	請求情報等を作成し、送信するための操作マニュアルです。
電子請求受付システム操作マニュアル	簡易入力システムの詳細メニューから利用できる機能(お知ら
(簡易入力/詳細メニュー編)	せ、請求取下げ依頼、到達結果確認及び通知書類取得等)に
	ついての操作マニュアルです。
電子請求受付システム操作マニュアル	簡易入力システム(障害児支援)で利用する各画面の詳細につ
(簡易入力/障害児支援編)(付録)	いて説明した操作マニュアルの付録です。
簡易入力 Ver.2.1(障害児編)報酬改定	「平成 21 年度障害福祉サービス等報酬改定」に対応した簡易
入力例	入力システム Ver.2.1(障害児支援)の入力事例集です。
簡易入力 Ver.2.18(障害児編)報酬改定	「平成 27 年度障害福祉サービス等報酬改定」に対応した簡易
入力例	入力システム Ver.2.18(障害児支援)の入力事例集です。

《簡易入力システム(地域生活支援事業)を利用する場合》

マニュアル名	説明
電子請求受付システム操作マニュアル (簡易入力/地域生活支援事業編)	簡易入力システム(地域生活支援事業)を事業所が実際に利用 して、請求情報等を作成し、送信するための操作マニュアルで す。
電子請求受付システム操作マニュアル (簡易入力/詳細メニュー編)	簡易入力システムの詳細メニューから利用できる機能(お知ら せ、請求取下げ依頼、到達結果確認及び通知書類取得等)に ついての操作マニュアルです。
電子請求受付システム操作マニュアル (簡易入力/地域生活支援事業編) (付録)	簡易入力システム(地域生活支援事業)で利用する各画面の詳 細について説明した操作マニュアルの付録です。

#### 《取込送信システムを利用する場合》

マニュアル名	説明
電子請求受付システム操作マニュアル	取込送信システムを利用して、請求情報等を取り込み、送信す
(取込送信編)	るための操作マニュアルです。

## 5. 問い合わせ

■ヘルプデスクヘお問い合わせの前に・・・

- ① 各マニュアル記載のトラブルシューティングを確認してください。
- ② 電子請求受付システムの【FAQ】画面の内容を確認してください。
- ③ 上記の確認を行っても解決しない場合、ヘルプデスクにお問い合わせください。

お問い合わせ先については、簡易入力システム、または取込送信システム等の【問い合わせ先案内】画面及び 電子請求受付システムの【FAQ】画面に掲載しております。

■お問い合わせ先■ 障害者総合支援電子語	青求ヘルプデスク
E-mail:mail@suppor ※ 問い合わせ票に	t-e-seikyuu.jp 必要事項を記入のうえ、メールに添付してください。
TEL:0570-059- ※ お問い合わせい 正確な把握のた FAX:0570-059-	・403 ・ただいた際の通話は、応対品質向上及びお問い合わせ内容の こめ、録音しております。あらかじめご了承ください。 -433
≪受付時間≫	、10日)の受付時間
明尔·劳的(毋万1) 亚日	10:00~19:00
十曜日	$10:00 \sim 17:00$
※ 請求期間	中に受付を行う詳細な日時については、
「お知らす	さ」をご参照ください。
請求期間以外(毎	月11日~月末)の受付時間
平日	10:00~17:00
※ 土・日・初	出日の受付は行いません。

- ※ E-mail、FAX でのお問い合わせにご協力をお願いします。
- ※ 回答をスムーズに行うために、お問い合わせの際は、事前に問い合わせ票の記載項目をご確認のうえ、お 問い合わせいただきますようお願いします。
- ※ 問い合わせ票は、【FAQ】画面よりダウンロードできます。また、問い合わせ票入力の機能を利用し、作成 することができます。